

令和8年度第1回日進市予防接種健康被害調査委員会議事録

日時：令和8年7月6日（月） 午後2時00分から午後2時35分まで

場所：日進市保健センター2階 会議室

出席者：恒川委員（日進市保健センター診療管理者）、宮川委員（医師）、土岐委員（医師）、
伊藤委員（日進市教育委員会委員）、青山委員（日進市社会福祉協議会長）、
渡邊委員（愛知県瀬戸保健所長）、森下委員（公立陶生病院小児科主任部長）（順不同）

事務局：與語隆弘（健康こども部長）、蟹江砂織（同部健康課長）、小川まゆみ（同課担当課長）
藤井明子（同課主幹）、奥田美紀（同課保健主任専門員）、三好明子（同課保健主任専門員）、青山
絵莉子（同課主任保健師）

傍聴の可否：なし

議事録

事務局	定刻となりましたので、ただ今から、令和8年度第1回日進市予防接種健康被害調査委員会を開催いたします。 委員の皆様には、大変お忙しい中、出席を賜りまして厚くお礼申しあげます。 本日は、すべての委員にご出席いただいておりますので、日進市予防接種健康被害調査委員会設置条例第5条第2項の規定により、会議が成立していることを報告いたします。 はじめに、健康こども部長よりご挨拶申し上げます。
健康こども 部長	（部長 あいさつ）
事務局	続きまして、配布資料の確認をさせていただきます。 （資料確認） つづきまして、委嘱書の交付でございます。 本来、お一人ずつ交付すべきところですが、時間の都合上、机上に配付させていただきましたのでご確認いただきますようお願いいたします。 委嘱させていただいた委員につきましては、名簿のとおりです。 では、議題にはいります。 本会議は本年度初めての会議ですので、委員長が決定するまで、事務局が議事の進行をさせていただきます。 本会議の委員長、副委員長は日進市予防接種健康被害調査委員会設置条例第3条第2項の規定により委員の互選により選出することになっています。委員長・副委員長の選出についてご推薦をお願いいたします。

委員	委員長には保健センター診療管理者であります恒川委員、副委員長には、医師会の宮川委員を推薦します。
事務局	ただいまご推薦をいただきましたお二人につきまして、委員の皆様いかがでしょうか。
各委員	(異議なしの声)
事務局	それでは、委員長を恒川委員、副委員長を宮川委員にお願いいたします。 恒川委員長は委員長席に、宮川副委員長は副委員長席に移動をお願いいたします。 (恒川委員長・宮川副委員長 移動) 委員長、副委員長が決定しましたので、以後の議事進行は委員長にお願いいたします。恒川委員長、お願いします。
委員長	委員長を拝命しました恒川です。皆様よろしくをお願いいたします。 委員の皆様には、円滑な議事進行にご協力をお願いします。 では、議事に入ります。本委員会は、傍聴が可能な会議となっております。本日傍聴希望者はありますか。
事務局	ございません。
委員長	傍聴の申込みはありませんので、本日の会議の公開はなしとします。 それでは、次第にしたがって議事を進めます。 議題（２）令和７年度予防接種実施状況について、事務局から説明をお願いします。
事務局	(事務局説明)
委員長	ただいまの事務局の説明で何かご質問やご意見はございませんか。
委員	子宮頸がんの接種者数は延べ人数ですか？
事務局	接種者の延べ数を記載しています。
委員	対象者数 2,876 人に対して、接種者数 745 人は少ないと思う。もっとキャンペーンをした方が良いと思います。

委員	日本脳炎の接種率が前年度に比べて10%程減少していますが、何か要因はありますか。
事務局	勸奨通知等は例年通り送っています。1期の標準的な接種時期である3～4歳ではなく、それ以上の年齢での接種者もあり、その年により、対象年齢内で接種時期を調整している可能性はあります。
委員長	それでは、議題（3）令和8年度予防接種実施計画について、事務局から説明をお願いします。
事務局	（事務局説明）
委員長	ただいまの説明について、ご質問等ありますでしょうか。
委員	予防接種間違いについて、乳幼児等予防接種において、同じワクチンを複数回接種する必要があることが、接種間隔の誤りにつながっていると推察していましたが、麻しん風しん（MR）や4種混合、5種混合の間違い報告の件数をみると割合は少ない。むしろ、子宮頸がん（HPV）や帯状疱疹で多くみられる。接種に不慣れであるとか、母子健康手帳で確認ができない等の要因は考えられませんか。
事務局	全体の件数で見るとご指摘の通りです。本市の間違い事例では、乳幼児の複数回接種するワクチンでの間隔間違いが多い傾向にあります。
委員長	ありがとうございました。それでは、次に議題（4）予防接種健康被害救済制度について、事務局から説明をお願いします。
事務局	（事務局説明）
委員長	ありがとうございました。ただいまの説明でご質問などございませんか。
事務局	（質問なし）
委員長	最後に、その他ご質問やご意見はございますか。
委員	昨年、日進市内で、ワクチンを2回接種しているにも関わらず、学校で水痘が流行った印象があります。一方で、今回の資料からは、予防接種はできていると考えられます。委員の皆さんは、どのような印象をお持ちでしょうか。
委員	水痘の予防接種は、重症化の予防に効果はありますが、やはり水痘自体の感染力が強いです。特に帯状疱疹を発症した保護者から子どもに感染し、小流行が起こるというパターンも

	あるように理解もしています。成人の帯状疱疹の接種率をあげることで、そのパターンを防げる可能性もあるかと期待しています。
委員	数年前に比べて、ここ数年の子どもの帯状疱疹の受診者数は少ないように思います。
委員	麻しんの流行について、日進市内の状況はどうでしょうか。
委員	西三河地域での流行はありましたが、尾張地域での流行報告はありません。 麻しんは予防接種を２回打つことが重要ですが、打っても抗体が付かないことがあります。また、修飾麻しんについても懸念されます。どのタイミングで麻しんを疑っていただけるのか、個々の診療所の判断になってくると思います。
委員	予防接種自体に意味がないわけではなく、拡大を止める・重症化を防ぐという意味でも、接種を積極的に勧めていただきたいと思います。
委員	妊婦の抗体検査で、麻しんの予防接種を２回接種していても、抗体価が基準値に迫る数値の傾向があると産婦人科学会で言われています。海外からの麻しんウイルスが爆発的に広がる懸念があります。今年度はアジア競技大会もあるので、海外からの人の流れも増えると予想されます。予防接種を市から積極的に後押ししていただきたいと思います。
委員長	ありがとうございました。本日の議題は以上となります。皆様、慎重なご審議ありがとうございました。 それでは、進行を事務局へ戻します。
事務局	委員長、ありがとうございました。 昨年度以降、新規での健康被害のご相談は受けておりませんが、一昨年度に相談を受け、資料提出のご案内をした方が数名いらっしゃる状態です。今後も、健康被害救済制度の申請に至った際には、本調査委員会を開催し、ご審議いただくこととなります。委員の皆さま方におかれましては、ご多用のところ大変恐縮ではございますが、その際は、ご協力いただきますよう、よろしくお願いいたします。 これをもちまして会議を終了とします。ありがとうございました。 (午後２時３５分終了)